

逗子散歩

今日の散歩道は逗子から横須賀。鎌倉と逗子は近いのでほぼ一体ですが、逗子に入るともう横須賀圏内の雰囲気になります。それは、池子米軍基地があるからだと思います。逗子と鎌倉、葉山と鎌倉、遠方の人はどうのようにイメージするのでしょうか？静岡からみると、逗子の言葉はなかった。葉山は知っていました。それは葉山マリーナの影響です。以下の地図は今日訪問する場所です。



●米軍基地(神奈川の人にはベースbaseと言います)

初めて静岡県静岡&清水から神奈川県厚木に引っ越したとき、なんて、外人が多いこと。そして米軍基地の政治的な話が多いことと思えました。もう今から45年も前のことです。静岡県には米軍基地がありません。あるのは浜松の航空自衛隊と富士の陸軍富士駐屯地、富士演習場です。子供会会の定番の遠足地です。神奈川には3つ基地があります。

A.座間キャンプ

キャンプの中心部は座間市にありますが、滑走路が広大なので大和市、厚木市、座間市にまたがっています。ここは航空自衛隊と海上保安庁が使っていて、ちょうど相模川、境

川や引地川（ひきち）の上が航路になっているので、関ヶの平塚工場や研究所（相模川から200m）にいと色々な飛行機を観察します。17歳の冬にこの米軍基地に一人で行ってミセスシュミットさんの家で昼食をご馳走になった話を以前しました。昨日、藤沢の上空をブンブンとジェット機ホーネット(右のジェット機)が飛んでいました。横須賀に空母レーガン(横須賀がホームドック)がドックに入って修理しているときに飛来します。厚木基地、横田基地、硫黄島が訓練地だそうです。うるさいです。米軍のジェット機は江ノ島の脇の境川の上を飛んで町田の上で旋回して厚木基地に離発着の訓練をよくします。海上では低空飛行し、江ノ島の上あたりで上昇するためにジェットエンジンを吹かすのでうるさいです。その点、前橋市は静かです。



B.横須賀の海軍基地

ここはみんな知っている、空母も来るし、潜水艦も停泊している。黒光りしている潜水艦をみると海面から上に見えている部分はたった20%で、大部分は海面下にあると思うとゾクゾクします。

この近くに防衛大学校があります。最寄駅は馬堀海岸駅。ここに色彩工学の岡島先生がいました。ある実験のためにこの研究室で3回ほど勉強しました。確か、最初に一人で訪問するとき、手土産をもって行ったが、京急電車の柵に忘れて、ひどく落ち込んだことを思い出す。校舎の中の廊下を歩いていると研究室の紹介の模造紙が貼ってあった。機関銃の銃身を冷やす方法、弾道計算、等、やっぱり防衛大学校だなと新鮮な感動をした。

C.池子米軍基地



ここは池子弹薬庫として有名です。山に囲まれたところに米軍の住居が並んでいます。今も弾薬があるのか知りませんが、逗子市長選挙となるといつもこの基地の返還の話が出ます。写真は京浜東北線の神武寺駅から見るフェンス越しの米軍です。この住宅地の一部が返還するとかしないとか。選挙の争点です。初めてベースの住宅を眺めたとき、なんて綺麗な、芝生の上に立つ白い一戸建て、羨ましいな。と、アメリカTVをみた昭和40年頃の私でした。

●神武寺 (じんぶじ) と鷹取山 (かとり)

京急神武寺駅でおりて暫く北の道路を歩くと逗子市立池子小学校の脇を通って薄暗い小道を歩き、神武寺ハイキングの入り口に着く。ここら特有の砂岩の山道を歩くと、大きな石碑の脇をとおり、神武寺に出る。天台宗の寺院で逗子八景の1つ。周囲は鷹取山と同様、第三期のもろい凝灰岩の岩場に囲まれ、森林の中にあるため気温が低く、やたらシダ類や昆虫が多い。調べてみてもこの程度の話が出てこないが、なかなか立派な鐘がある。この道をさらに北の方角に歩くと急に開けて、大正の関東大震災前まで凝灰岩(*)の石切場であった場所につく。大勢のロッククライマーが練習していたが、事故が起きてから制限されていると書いてあった。経験上、ハーケンを打ち込んでも凝灰岩は柔らかいので体重がかかれば抜け落ちるだろう。フリークライミングなら良い場所と思う。大学時代にやっていたロッククライミングの血が騒ぐ。ハーケンを打つなら硬い花崗岩の岩の割れ目が最高！安心です。歴史的価値で残した石切場を抜けるとすぐに宅地が広がる。あとは京急の田浦駅まで小走りに歩いて20分ぐらい。田浦は歴史的にも何もない、平民の住居群です。

※凝灰岩:火山から噴出された火山灰が地上や水中に堆積してできた岩石。



神武寺の鐘と鷹取石切場



●森戸溪谷,オオルリ、ハンミショウ

逗子には小さな森戸川がありますが、それより、川が海に出たところの森戸海岸の方が有名です。ここには悠次郎の記念碑と鎌倉幕府時代から伝承がある海の中に鳥居があります。源頼朝公創建と伝わる850年の歴史を持つ森戸大明神（森戸神社）です。今日の目的は、ここから川を遡って逗子の山の中に入ります。何時もは藤沢の自宅から小型の自転車によって、森戸川の源流入り口のところまで行き、そこからハイキングを20分、往復40分コースである。もとより逗子ですから深い山ではありません。でも、鬱蒼と川の両側に木々があり、珍しい鳥、例えば三光鳥もいるとある。

三光鳥はサッカーのジュビロ磐田のマスコットの鳥だ。私は見たことがありません。幻の鳥です。見たのはオオルリを2回です。青い鳥が水浴びし、木の枝の上で羽を乾かしていました。偶然、見つけて大急ぎでシャッターを押した。ここで初夏から秋によく見るの



がコウチュウ目オサムシ科のハンミショウ（斑猫）とう鮮やかな甲虫です。金属光沢の黒光りする体にオレンジ、赤、緑、青の極彩色の模様があります。その柄が綺麗で、まるで人間国宝が蒔絵を描いたようだった。

川を突き当たったところから、二子山にのぼる登山道があるが、道は荒れている。引き返して自転車で帰ることにした。藤沢から往復3時間ぐらいの行程が丁度よい。



●仙元山(せんげんやま118m)から相模湾と富士

森戸海岸から近いところに仙元山がある。群馬の人に笑われてしまいそうな高さの山だ。標高が118mとは、山なのか？丘なのか？葉山町役場の脇の道をのぼると最初にお寺（實教寺）の横を通って登っていく。軽く登り、ここが頂上？と拍子抜けして下る。下る途中に絶景ポイントがある。丁度、南面と相模湾が対峙していて青い相模湾越しに江ノ島と白い富士が見える。冬は空気が澄んでいるで富士

が美しい。ここでお昼にする。大好きなアンパンと野菜ジュースを飲んでゆっくり下山です。香月子も足が悪くなければ一緒にハイキングをしてみたいと思う。

●逗子マリーナと葉山マリーナ

それはウォーターフロントマンションの先駆けでした。鎌倉の材木座海岸を北に歩くと逗子マリーナの南フランスプロバンス風のマンション群に出会う。街路樹がヤシの木、シュロ、マンションの屋根が赤い瓦をあしらって、明るい



開放的な地域だ。調べると鎌倉霊園の残土を利用して海岸を埋め立て1971年(S46)に開業した。当時、西武流通グループ（後のセゾングループ）が開発したとある。そうになると、もう46歳、立派な年だな。その当時は憧れの海岸リゾートマンション群も今は普通で、ちょっとくたびれた感じがします。この中に逗子マリーナのヨットハーバーがあり、当時の金持ちのハイカラ具合が浮かぶ。

もう一つは葉山マリーナ、ここは加山雄三の若大将シリーズの映画で登場したと思います。お母様の時代でしょうか？東宝が1961年から1971年まで製作した全17作でした。すごいね、よく17作まで続いたものだ。私はその当時は小中学校で、もっぱら怪獣映画、スターウォーズだった。加山雄三が葉山マリーナにヨットをもっていて、そんな関係でまだ毎年秋9-10月に「若大将カップ」なるレースがあるという。ここ鎌倉、逗子、葉山には有名人の別荘が一杯あります。ま、庶民には縁がありません。ここら辺の、高度成長期終盤の日本の風景はお母様世代が最後になるかと思います。

●天皇ゆかり御用邸

今日めぐるコースは大正天皇の住居跡の「葉山しおさい公園」と現在の葉山御用邸です。ここを語るととても長い話になりそうですから、入り口の風景だけにします。葉山御用邸には警官の詰所がいくつかあり、道路に面したところには年中無休で終日警官(※)が立っています。マラソンで通りかかったときは、「こんにちわ」と大きな声で激励してあげます。ここの広大な敷地の建物群はもちろん地図にはのっていませんが、宮内庁に案内図が大まかにありましたので転記します。陛下は夏は混むのでそれ以外の季節に時々来るそうです。一度、お会いしたいと思います。

※皇宮警察とは？

道路に立っているのは警察官？それとも皇室警備の方？

ネットで調べていたら、こんな記事で出くわしました。

…26日酒に泥酔し葉山御用邸の敷地内に侵入した慶応大学4年の男子学生を**皇宮警察**が逮捕した。『侵入したのは間違いない』と容疑を認めた。建造物侵入の現行犯だ！....警備は皇宮警察だそうです。

そして

>生活安全警察費1億円に比べて 皇宮警察本部75億円。

さすが皇宮警察。予算も厚遇されているワケです。

(引用先<http://xanadu.xyz/post-215/>)



大正天皇の住居跡が公園に



葉山御用邸の警備

●逗子海岸海水浴、由比ヶ浜海水浴場

海岸風景をみてみましょう。右の海水浴場は長者ヶ崎からみた鎌倉、江ノ島方面です。ここはあまり混みません。小さな海の家が何件かあるだけで、家族向きです。この海岸線を北に歩くと1kmたらずで、御用邸の裏庭の浜につながります。勿論、一般は立ち入り禁止です。一方、鎌倉の由比ヶ浜は賑やかです。TV局がだす海の家、テーマパークがあります。若い人が大勢きます。江ノ島の海の砂は長石



が多く黒色で且つ、比重が軽いので波によって巻き上げられ、黒い泥水状となり、それが視界を遮ります。小石の海岸がやっぱり透明度が良いです。郷里の三保の海岸は安倍川の石が流れたものであり、砂の巻き上げがないので透明度が高かった。海の中の散策の話をしたら、お母様のスキューバの出番ですね。きっと、普通の人が見れない絶景を海中でみていることと思います。

これで今日の散歩は終わりです。足を伸ばせば湘南国際村を経て横須賀、三浦半島先端までサイクリングで行くことができます。次回、2回目の時は三浦按針の話と三浦半島、日産追浜工場と走行テストコース、金沢八景の小旅行をしたいと思います。

●唐詩

今日は、逗子の森戸溪谷で撮影した鶯の「ホーホケキョ」を鳴いた、その瞬間の写真と、鶯を用いた漢詩です。

江南の春 杜牧
千里鶯啼緑映紅
水村山郭酒旗風
南朝四百八十寺
多少樓台煙雨中

千里鶯啼いて緑紅に映ず
水村山郭 酒旗の風
南朝 四百八十寺
多少の樓台 煙雨の中



森戸溪谷にて盛んに鳴く鶯(増田)

解説

千里に鶯が鳴き、緑の葉が赤い花に映えている
水辺の村や山の集落では酒屋の旗がたなびいている
南朝の時代にはこの辺りには480もの寺が建てられたが
その多くの寺が霞の中にたたずんでいる

挿絵の写真は逗子の森戸溪谷で撮影した鶯。鳴き声はよく聴くが、姿は見えない。体を震わせて、大きな声で「ホーホケキョ」。こんだけ鳴いたらさぞかし腹も空くだろう。